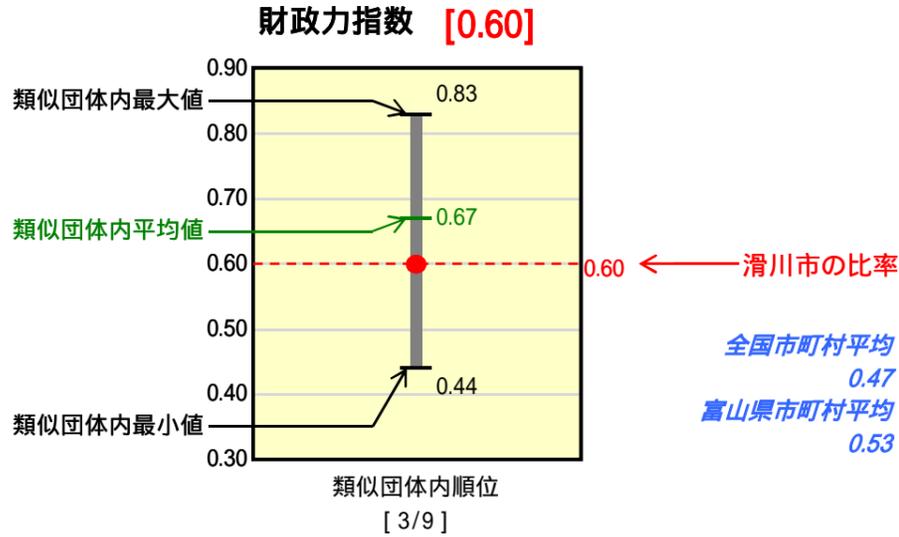


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

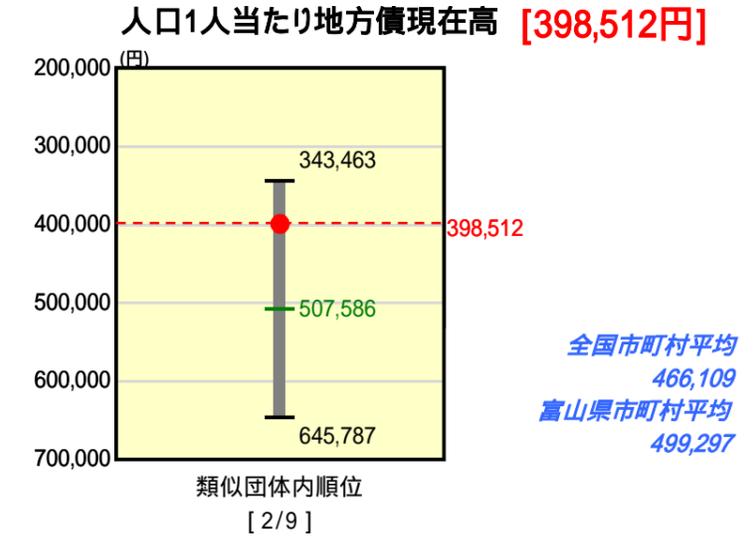
富山県 滑川市

人口	34,254 人(H17.3.31現在)
面積	54.61 km ²
歳入総額	12,933,299 千円
歳出総額	12,128,022 千円
実質収支	739,633 千円

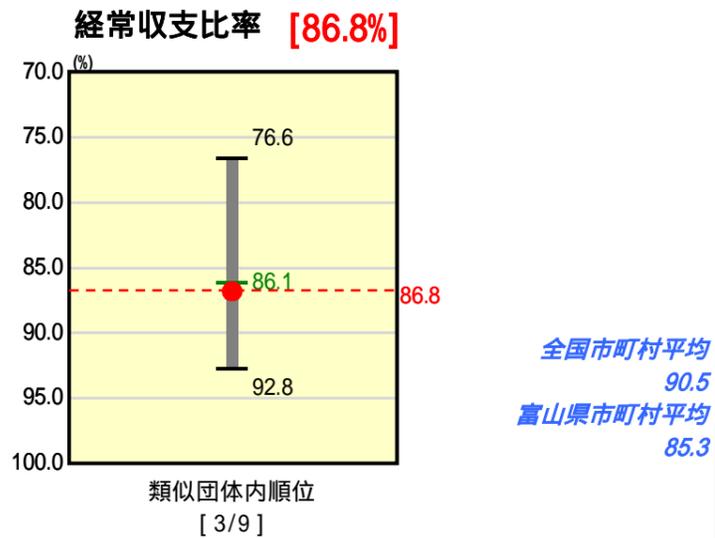
財政力



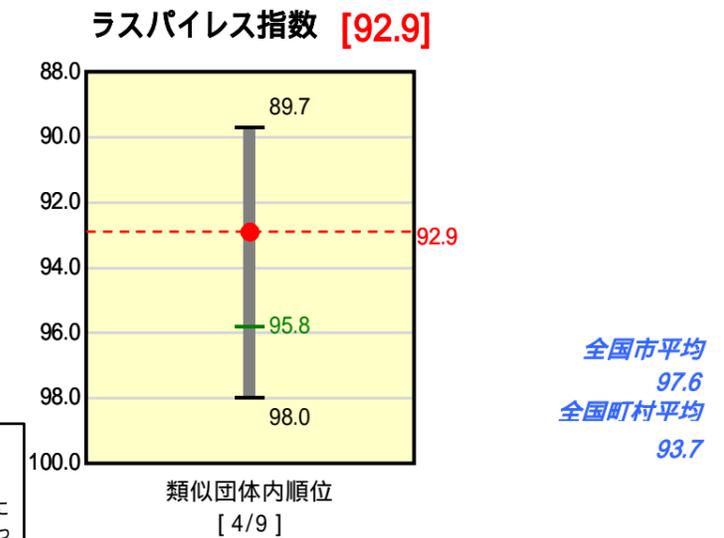
将来負担の健全度



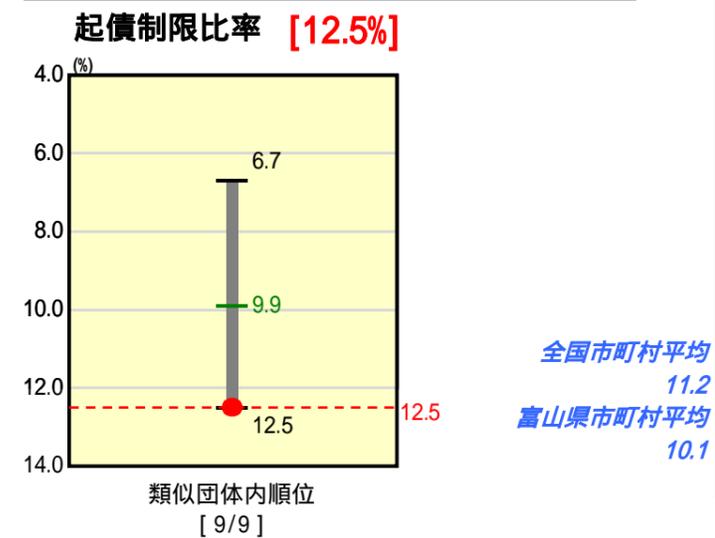
財政構造の弾力性



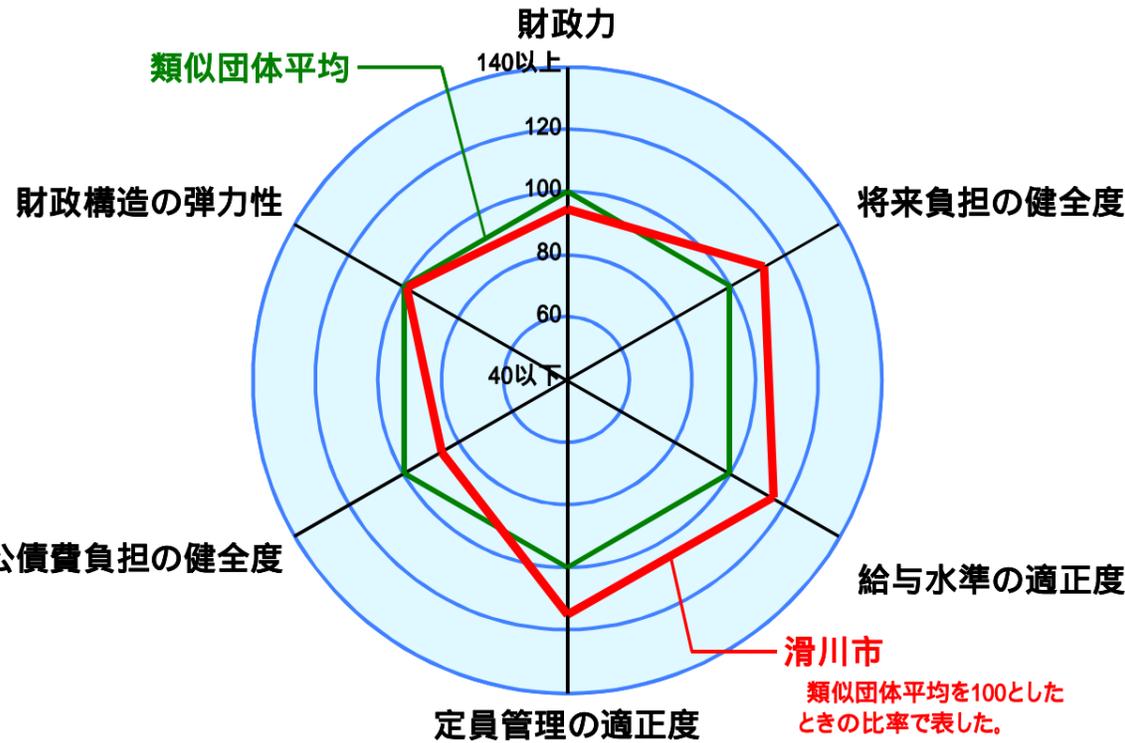
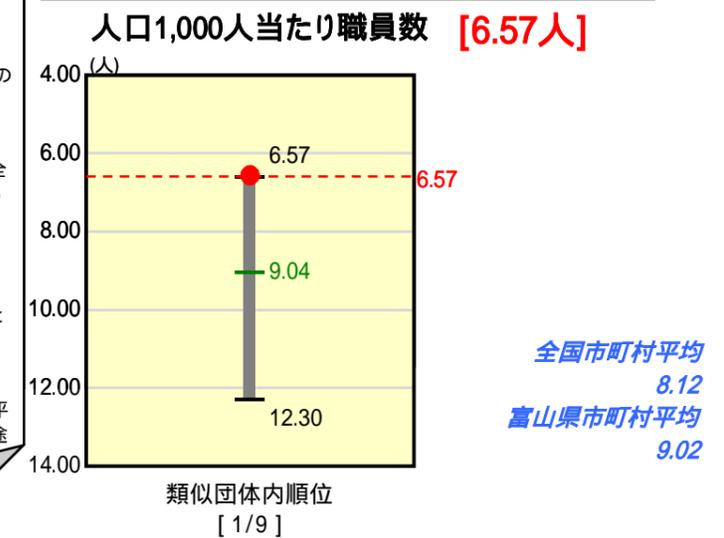
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数
本市の財政力指数は、全国平均・県平均よりも高い0.60となっている。これまでも、行政改革大綱に基づき公共料金の見直しや市税等の収納率の向上等により、歳入の確保に努めるとともに、補助金等の整理合理化などの事務事業の整理合理化や不要不急の事務事業の不断の見直し等により、経費の節減を行っているところであり、引き続き財政の健全化を図ることとしている。

経常収支比率
経常収支比率については、全国平均を3.7%下回っているが、人件費について平成11年度以降微減を続けている一方、各種福祉施設等の充実や介護・医療費の伸びに伴い、扶助費が大きくなってきているところである。今後とも事務事業の見直しを進め、経常経費の削減を図ることとしている。

起債制限比率
類似団体の中では下位に位置するが、平成13年をピークに毎年減少しているところである。住民ニーズを把握した事業の選択により、大きく起債に頼ることのない財政運営に努めることとしている。

人口1人当たり地方債現在高
地方債については、平成12年をピークに残高が減少しているところである。全国平均・県平均よりも地方債現在高が低水準であり類似団体においても健全度では上から2番目である。今後とも補てん措置のある有利な起債の活用とともに繰上償還の促進、低利率債への借換等の努力により健全な財政運営を行うこととしている。

ラスパイレス指数
ラスパイレス指数については、全国市平均97.6%、全国町村平均93.7%のいずれよりも低い92.9%である。職員手当についても必要最低限のものとなっており、他の自治体と比べても特殊なもの支給はないが、時間外勤務手当については10%以上の削減を目指し、今後とも給与費の適正化に努めることとしている。

人口1,000人当たり職員数
職員数は、平成17年4月1日現在で256人(平成16年度比5人減)となっている。類似団体の中でも最も少ない人口1,000人あたり6.57人であり、全国平均・県平均よりも職員数は下回っているところである。今後とも計画的な職員数の抑制に取り組むこととし、集中改革プランの期間内に5%超である13人を目標に職員定数の適正化に努めることとしている。